

平成24年度 長野女子高等学校 自己評価

学校教育方針

1. 礼儀を重んじ、思いやりの心を持ち、女性らしい温雅と清らかな心を培う。
2. 自ら知識と技能を技能を体得し、正しく広く追究していく清新な姿勢と能力を培う。
3. 責任と義務を自覚し、思慮深い適切な判断で行動できる実践力を養う。

1. 次年度の改革に備え、ICTの利用などの授業革新の研究を進める。
2. 国数英の教科を重点にし、読み書き計算力などの基礎学力の向上を目指す。
3. 交通安全意識の向上により、生徒の安全の確保を目指す。
4. 各種検定を通して、基礎・基本にかかわる知識、技能を身につける。
5. 習熟度別学習、チームティーチング(TT)による、学力の向上をはかる。
6. 校則の順守を徹底し、規範意識の増進を目指す。

中長期目標

1. すべての教科において、学校教育方針の具現化を目指し、年間指導計画で目標を位置づける。
2. 学力の向上をはかり、希望進路の実現を目指す。
3. 教職員の指導力を高める。
4. 信頼される学校づくりを目指す。

分野	評価項目	観点	評価	成果と課題
教育課程	教育課程の研究・改善	平成25年度からの新学習指導要領、新コース制導入に沿う教育課程の研究が行えたか。	A	ICTの研究が行えた。
		選択科目の選択において生徒の個別指導ができたか。	B	学力差があるため、個別指導をしたい生徒に重点的にできなかった。
学習指導	基礎学力定着	習熟度別授業を通し、各生徒に合った進度で授業を行えたか。	B	学力の低い生徒に合わせると進度調節が非常に難しい。
	学習指導力向上	教員相互で授業参観を実施し、授業の質の向上がはかれたか。	B	回数が少なく、検討会の質が伴わないこともあった。
生徒指導	校則の実践、定着	校則の意味及び必要性を指導できたか。	B	指導できたと感じる。
		自ら校則を守ろうとする意識を持たせることができたか。	A	表面的にはそのように見える。
	基本的生活習慣の定着および社会性の向上	遅刻、欠席、身だしなみ指導が継続的に行うことができたか。	A	遅刻確認システムを変更し、効果的に運用できた。
進路指導	進路指導計画の確立	3年間の長期展望に立った進路計画が整備できたか。	B	学校外の団体と連携してさまざまな企画を行った。
	キャリア教育の確立	1年次より、将来を見据えたキャリア教育が行われたか、特にインターンシップ、サマーチャレンジボランティアなどの課外活動を積極的に推進できたか。	A	課外活動に積極的に参加させることができた。
開かれた学校	情報提供	ホームページ、オクレンジャー、プリント類を通じて、情報発信できたか。	B	学年によって、オクレンジャーの使用頻度に差がある。ホームページの「今日のナガジョ」を当番制にし、毎日更新できた。
	地域活動	地域の清掃や雪かきなど、地域活動に参加できたか。	A	積極的に参加し、地元からも感謝されている。
	PTA活動	学級、学年、地区PTA、オクレンジャーを通じて、保護者の声を吸収できたか。	C	まだまだ保護者の方々からのさまざまな不満や要望は多い。特に進路指導に関してその傾向が強い。